琉球大学学術リポジトリ

交際費について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-07-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 新垣, 都代子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/20970

交際費について

消費生活が向上して、都市と農村の差がなくなってまいりました。農村においても、年と共に、冠婚葬祭などがはでになってきましたが農家のみなさま方の生活費では、交際費はおいくら位になっておりますでしょうか。

家計簿の決算をするたびに予算を超過してはないでしょうか。農村の現金収入の最も大きなものである砂糖きびの価格の値下りは、皆さまの生活にどのように影響を与えているでしょうか。私どもは、収入が増えることによる生活の豊かさと同時に、生活全般にわたって無駄を省き、合理化を計ることにより、収入増加にあたいするほどの効果を期待することができます。浪費を省き生活費の再検討をすることによって、底力のある新しい生活方針を立てて進まねばならない時だと思います方針を立てて進まねばならない時だと思います。

そこで生活費中、最も節約したい費目の一つに交際費があげられます。この春もまた、卒業祝、入学、結婚祝などと出費が重みます。その中でも贈答について考えてみましょう。私どもが社会生活を営むために交際は大切なことですが、そのために無駄な支出をし、最も大事な家族の生活費にしわよせがきては困ります。

交際費には、

(1)贈答費……社交のための贈答、病気、災害見舞、入学、結婚、出産祝、餞別、香典など。

(2)その他の交際費……来客の接待費、祭礼費、職業費、名刺代などがあります。では次に、自分自身に3つの質問を出して、それに答えられたら、自分のやるべきことがはっきりする事と思います。

(1)わたしは余りにも外見にのみ走りすぎ、奢侈に流れてはいないでしょうか。

(2)わたしは封建的な生活習慣にしばられすぎてはないでしょうか。

(3)わたしは虚礼廃止に強くふみ出す勇気に欠けてはないでしょうか。

贈答の基本精神

贈答ということは、「儀礼として人に物品を贈ったり、その返礼を受けること」と云われております。贈られたならばそれに答えるものという慣習がありました。けれども、文明社会では、或種の道徳的効果が期待されるにすぎないものになってまいりました。欧米では、年中行事として最も大きなクリスマスに家族はもとより、友人とも互に贈物の交換をするようですが、その他の場合は贈るだけでこれに対する返礼という事は、ほとんど行われてないようです。この方ががえって贈る人の誠意を感謝して受けるという意味から合理的であると思います。余りにも形式的に「受けたらすぐ返す」が如く、お返しが来るのは贈答の基本精神ではないのです。参考まで

に、贈答に関する次の日米、比較表をごらん下さい。

贈答に関する日米比較表

		贈	答			贈	答
結婚	日	○	○	中元	日	○	○
	米	○	×		米	×	×
結婚記念日	日	△	△	訪問	日	○	○
	米	○	×		米	×	×
出産	日	○	○	送別	日	○	○
	米	○	×		米	○	○
誕生日	日	△	△	卒業	日	△	△
	米	○	×		米	○	×
お年玉	日	○	○	病気	日	○	○
	米	×	×		米	○	×
節句	日	△	△	災害	日	○	×
	米	×	×		米	○	×
イースター	日	×	×	死亡	日	○	○
	米	△	△		米	○	×
歳暮	日	○	○	仏事	日	○	○
	米	×	×		米	×	×
クリスマス	日	△	△				
	米	○	○				

備考：○一般に行われる。△一部に行われる。×殆んど行われない。＊（新時代の農業経済大久保敬著より）

さて次に私どもの身近かな例をおげながら望ましい贈答のあり方について考えてみましょう。

望ましい贈答

(1)人の喜び、悲しみを共にする心

目上の人、友人、知人、親戚に対して、常にもっている情は美しい自然の人情といえましょう。このあらわれが心からの祝、見舞、あるいは謝意を表することになるのです。何れの場合にも誠意の届くようにしたいものです。いたずらに形式にとらわれず、品物の多少や、金額を気にするようなことがないように十分に注意したいものです。

(2)身分相応のもの

誠意を金や物に託して、事足れりとするようなことがあってはならないと思います。殊に贈られるものが欲しかったもの、また必要度の高いものであったとすれば、物の大小は勿論高価なものでなくとも満足感は大きく、その価値も大きいものです。

(3)商品券もよい

不要なものの重なる事をさける贈物としては大変結構なものと云えましょう。

(4)相手の欲しいものを聞く

親しい人、お聞きしても失礼にならない方への贈物なら預め何がほしいかを尋ねする

への贈物なら預め何がほしいかをお尋ねすることも心のこもった贈物とまた実用をかねることになりよい事です。

(5)中元と才歳

平素疎遠になっている目上の方、また友人に対してはせめて中元、才歳の時期にでも、謝意を表わしたり、旧交をあたためる目的で贈物をいたします。その場合には、自分でもってゆき挨拶するのが誠意のあるやり方です。時折デパートなどから贈り届けさせる事がありますが、場合によっては失礼になることもありますから気をつけましょう。また形式にとらわれずに、先方の嗜好に合ったもの、珍らしいものがあった場合に、これをお贈りすることはもっと誠意のあるやり方と云えましょう。

(6)その他

家計上の都合やその他の事情で買ったものが贈れない場合は、手作りの野菜、草花、漬物、菓子、手芸品などの心のこもった贈物をもってゆき、丁重に御挨拶のできる事が、かえって誠意が届くように思われます。いたず

らに一弗均一とか、50仙均一という画一的な交際は反省すべき時です。もっと自覚して自分の家計に合った交際をしましょう。

考えなおしたいこと

(1)お土産を期待しない

最近、祝の贈物の返礼として、台所器具、食器類が増えて参りました。贈る人は夫々、心をこめて選んだものであっても、受ける側では数多い祝の中に、同じものが重なることもあってその品の価値や効用の減ずることは、残念なことです。私の知人でお吸物椀が80組集った例があります。そこで贈る人贈られる人の精神的な面、費用の無駄を省き、最も合理的な方法を考えたいものです。

(2)たらいまわし

昔からよく聞かれる話に「才暮に自分の家から贈った品が幾日か後に、次々とお歳暮の役目を果して終りに自分の家にもどってきた」という意味のない贈物もあります。またお正月の年始にいらした方が「おしるしに」と置いてゆかれた品物の外包を開けたら、他の方の名刺がはりつけられてあったり致します。もし、頂きものが沢山あった場合は、「他からの頂きものですが大変おいしかったものですからおすそわけを」とお断りして差し上げた方がどんなに嬉しいことでしょう。

(3)訪問の際

元来、女性は贈物を好む性質をもっているのでしょうか、或は古くからのしきたりがそうさせたものでしょうか。お土産がないと気おくれがするようでは、どうかと思います。

(4)来客のもてなし

久しく訪れた方を心からもてなすことは喜ばしいことです。しかし日常の生活費をひきしめてまで来客の接待に無理をすることはどうかと思います。或婦人の集いで、「最近農村でも生活がはでになり、主人や息子の来客のたびに、ビールの請求がある。との事です。お客様には平常頂けない御馳走を差上げなければ、しかも肉や魚でなければ、野菜料理を出すのは失礼という考え方がまだまだあるようです。

(5) 香典返しは

長い病症生活や、不事のできごとによる不幸にもかかわらず、香典返しを心配するのはどうかと思います。精神的な悲しみだけで精一杯のところへ経済的負担までおかけする事は大変お気の毒なことです。また期待したくもないものです。相手と共に悲しんであげるという内面的な態度の表われが日常生活でもっと活かされてほしいものです。

すなわち、健全な家庭は物を主とした交際のあり方や、虚礼的な贈答を廃止すべきでありましょう。そして身分相応な誠意あるものに変えてゆきたいものです。

家庭管理の担当者としての主婦は、物、心両面の生活管理、あらゆる消費生活のむだを省き、合理化を計る責任があります。最も大事なことは自分の家計に相応しい交際のあり方に、もっと主婦の1人1人が自覚して、明るく住みよい社会にしたいものです。

（新垣都代子）